

1. オ一次連洋鮪漁場調査

漁業指導官 土井久治

担当者 当真技手

1. 目的

前年度に引き続きセレベス海区のマダロ漁業試験、海洋組漁、体長測定、胃内容物の調査と南方魚場出漁中の船に各漁船の漁況海況の通信連絡し好漁場を指導することに努めるのと、本邦は米国民政招聘の漁業指導官兵庫県姫路市役所土井久治氏の漁場並に海洋組漁の指導を受けることであつた。

2. 調査及漁業試験概況

1961年8月14日 至 8月24日迄セレベス海区の中央部、南西部、東部調査を行つた。

調査状況

項目 漁区	採 集 業		餌 料 サンマ	海 区		魚獲總合	約獲率	
	年 月 日			II	I			
1	1961	8 14	サンマ	4°-19'	125°-52'	22 尾	1.6%	セレベス 中部部
2	"	" 16	"	2°-36'	119°-49'	65	4.27%	" 西部部
3	"	" 17	"	2°-52'	119°-33'	28	2.24%	" 西部部
4	"	" 18	"	3°-20'	120°-20'	96	7.68%	" 中部部
5	"	" 19	"	3°-50'	120°-14'	113	7.90%	"
6		20	"	3°-10'	120°-19'	56	2.49%	"
7		22	"	3° 0'	120°-9'	113	7.66%	東部部
8		23	"	2°-45'	124°-22'	36	2.48%	"
9		24	"	2°-26'	124°-7'	66	4.51%	"

海 況

- 1 海区 表面水温25.6℃100米2.8℃台で塩分量は表面18.83‰100米層19.10‰台200米19.26‰流向S-W流速1.0ノノ 水色II、透明度40米を示していた。
- 2 海区 表面水温27.6℃100米24.65℃200米17.19℃台塩分量、表面18.83‰100米19.16‰、200米19.09‰台流向S-W流速0.5~0.8ノノ水色II、透明度31米を示していた。
- 3 海区 表面水温26.5℃100米22.90℃200米17.55℃塩分量は表面18.84‰100米18.83‰200米19.08‰台流向S-W~W-S-W流速0.5~0.3ノノ 水色II透明度31米を示していた。
- 4 海区 表面水温24.4℃100米24.65℃200米19.0℃台塩分量、表面18.78‰100米19.04‰200米18.82‰台流向S-W流速1.2~0.5ノノ透明度28米水色IIを示していた。
- 5 海区 表面水温24.6℃100米27.95℃200米19.0℃台で塩分量は18.95‰100米18.92‰200米19.15‰流向S~S-W流速0.5~0.6ノノ水色I透明度28米を示していた。

- 6 海区 表面水温28.4°C100米26.28°C200米16.21°C塩分量表面18.90%
100米15.10%200米15.14%流向W~W/S流速1.0~1.5ノ水色II透明度55米を示していた。
- 7 海区 表面水温25.1°C100米21.80°C200米16.40°C塩分量表面18.94%
100米15.14%200米16.40%流向SSS流速0.5~0.9ノ水色II透明度34米を示していた。
- 8 海区 表面水温29.4°C100米23.95°C200米17.41°C塩分量表面18.74%
100米15.06%200米15.14%流向SSS流速0.5~0.9ノ水色II透明度16米を示していた。
- 9 海区 表面水温29.4°C100米23.95°C200米16.85°C塩分量表面18.93%
100米15.19%水色II透明度42米を示していた。

気象

- 1.2.3.4.5 海区は晴天風力I~II 風向S~SSW
2.1.4.5 殆ど曇天で風力II~V 風向SW~SSW

其他気候、照度当時の気象、海況、水温、塩分量の海区別の調査は第一表、海洋動物と採集一覧表の通りである。

枝網沈下深度による魚種別、海区別漁獲状況

各枝網は沈下深度が違つたので枝網別に釣獲尾数を調査した其の結果を示せば下表の通りである。

枝網番号	魚種別						海区別
	キハダ	メバチ	クロナカ	シロカ	バレカン	フカ	
	5	1	0	1	0	0	7
I	9	0	0	0	0	2	11
	1	0	0	0	2	0	3
	8	0	0	0	1	1	10
	7	0	0	0	0	0	7
	5	0	0	0	0	2	7
	12	5	0	0	1	0	18
	2	5	0	0	1	0	8
計	57	11	1	1	6	5	81
	5	0	1	0	0	0	6
II	12	0	0	0	0	0	12
	2	0	0	0	1	0	3
	21	1	0	1	0	1	24
	27	1	1	1	0	1	31
	6	2	0	0	1	2	11
	17	2	0	0	2	0	21
	4	4	0	0	1	0	9
	8	0	0	0	1	0	9
計	100	10	2	2	6	4	124

凡例 Iは枝網番号、数字は釣獲尾数○は漁獲無し

遠洋船延縄漁業試験漁場図

1961年8月14日~3月24日実施



凡例

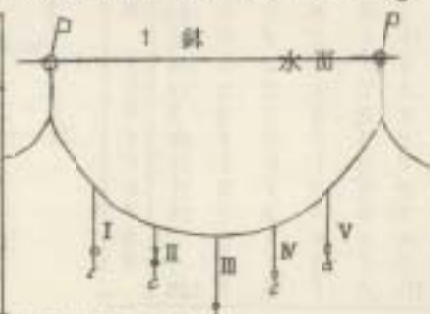
↑ ↓ ○
延縄漁場

枝罾 番号	魚 種 別						海 区 別	
	キ ハ ダ	メ バ チ	ク ロ カ ハ	シ ロ カ ハ	バ レ ン	フ カ		計
III	2	0	0	0	0	1	5	1
	10	2	0	0	1	2	15	2
	9	0	0	0	2	0	11	3
	25	1	0	0	0	1	27	4
	25	1	0	0	1	1	26	5
	6	0	0	0	0	2	8	6
	25	3	1	1	0	0	28	7
	2	2	0	0	0	0	4	8
計	120	10	1	1	5	8	145	9
IV	4	0	0	0	0	0	4	1
	8	0	0	0	1	2	11	2
	6	0	0	0	1	0	7	3
	21	1	0	0	0	0	22	4
	16	0	0	0	0	1	19	5
	5	0	0	0	2	0	5	6
	21	5	0	0	0	0	26	7
	1	1	1	0	0	0	2	8
計	91	9	0	1	5	5	109	9
V	3	1	0	0	0	0	4	1
	11	1	7	0	0	1	14	2
	2	1	0	0	1	0	4	3
	11	1	0	0	0	1	13	4
	25	0	0	0	0	0	25	5
	2	1	0	0	0	1	4	6
	15	1	1	0	1	2	20	7
	6	4	0	1	2	0	13	8
計	82	10	2	1	6	9	110	9
総計	450	50	6	6	28	29	569	

枝罾別総合結果を示せば次表の通りである。

即ち1位II番枝罾(145尾) 2位II番枝罾(124尾) 3位VM枝罾(110尾)(109尾) 4位I番枝罾の順である。中間の枝罾が漁獲率が1かつた結果を示している。

枝罾別 魚種別	I	II	III	IV	V	計
マダロ	57	100	120	90	82	450
メバチ	11	10	13	9	10	50
クロカハ	1	2	1	0	2	6
シロカハ	1	2	1	1	1	6
バレン	6	6	5	5	6	28
フカ	5	4	8	3	9	29
計	81	124	145	109	110	569



なお表細は漁具構成上から複製した水深別魚獲状の通りである。

海区別総合漁獲率表

項目 海区別	月日	海区位置		魚 種 別										使用 漁具					
				ハマダ		メダ		クロカフ		シロカフ		ハレン			フカ		計		
		尾	%	尾	%	尾	%	尾	%	尾	%	尾	%		尾	%	尾	%	
	1961																枚		
1	8.14	4-19'	123-32'	17	133	2	045	1	006	1	006	0	0	1	006	22	144	300	不漁
2	#16	2-36'	112-49'	50	559	3	002	1	007	-	-	2	044	7	088	53	427	295	網罟
3	#17	2-32'	112-35'	20	160	1	007	-	-	-	-	7	054	-	-	28	224	250	普通
4	#18	5-20'	122-20'	84	688	4	032	1	008	-	-	1	008	4	032	98	768	250	網罟
5	#19	5-50'	122-14'	104	724	2	014	1	007	1	007	1	007	3	021	113	290	287	網罟
6	#20	5-10'	122-19'	22	152	3	021	1	007	-	-	3	021	7	048	56	248	289	普通
7	#22	5-0'	122-9'	88	600	16	110	2	013	1	007	4	027	2	015	113	766	292	網罟
8	#23	7-45'	124-22'	15	105	16	110	-	-	1	007	4	027	-	-	56	248	290	普通
9	#24	7-26'	124-7'	50	349	3	021	1	007	1	007	6	042	5	035	66	461	286	網罟

上記表に示す如く、4、5、7、9、海区は稍好漁を示している。
 漁獲率最高5、海区は90%次に1、7、区の順となる。
 各海区における漁獲総量は各海区別の項の通りである。
 なお本調査における鯖、イサカによる被害状況は第三表、第五表の通りである。
 魚体測定及び胃内容物の調査

結 果

本調査によつてセレベス海8月中下旬の魚の資源量は頗る豊富の如く観察せられた。なほ月別、旬別に各魚と漁獲とを交換することによつて何日頃が盛漁期か又周年操業可能なかを調査の必要がある。

海区別には5、4、7区のセレベス中央部が好魚で他区は普通漁であつた。

海区は水深表面? 8.4~25.1、100米26.5~21.8、200米1.9~1.6-4を示している。捕獲率は表面18.78%~13.96%、100米18.92%~19.14%、200米18.82%~19.20%であつた。

※ 天候は晴天より曇天の日が漁獲量が高い。

水深から見た漁獲量は一番浅いⅢ、Ⅱ、Ⅰが高いが魚の好遊水深と游泳層については充分なる設備と数度の調査にまたなければならぬ。又今回はハマダ鯖の回遊が比較的にかつたことにハマダ鯖の回遊時期であつたといえよう。